

科目名	Webプログラミング演習 I B											
科目名(英)												
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		浜地 啓			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年											
授業概要	PHP言語の基礎を学び、簡単なWebサイトの構築及び、PHPの基本的な文法や制御構造について学習する。 また、フォームなどのWebコントロールに関しても学習する。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				PHPの概念や役割を説明できる						
	○	○				PHPの基本関数、アルゴリズムを理解できる						
	○	○				フォーム等のWebコントロールを理解し、実装できる						
テキスト・教材 参考図書	『PHP8+MySQL 入門ノート』（ソーテック社 2021年）											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-3	インクリメントとデクリメント、演算子										
	4-8	if文、switch文、match式を用いた制御構造										
	8-9	while文、for文による繰り返し構造										
	10-14	関数の作り方、使い方、引数の指定の方法										
	15-16	文字列とヒアドキュメント					既習内容を必ず復習しておくこと					
	18	授業内評価テスト① 前回までの復習										
	19-20	フォームを用いた、ページ間での値の受け渡し										
	21-22	サニタイジングとバリデーション										
	23	正規表現にによる、妥当性のチェック										
	24-25	データのhidden渡し					既習内容を必ず復習しておくこと					
	26	授業内評価テスト② 前回までの復習										
	27-33	各種フォームコントロール										
	34-35	日付のフォーマットチェックと、妥当性チェック										
	36-44	セッション管理と、セッション変数、cookie					既習内容を必ず復習しておくこと					
	45	授業内評価テスト③ 前回までの復習										
評価方法	(1)授業内評価テストを3回実施する (2)課題(完成度・提出状況)(3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	授業内評価テスト		◎		◎						40%	
	課題		○		◎		◎				50%	
	受講状況						◎				10%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。											

科目名	言語 I B-3						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、更に幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N1 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2022年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	後期の授業運営の説明 / 社内で話す「さすが本田君(1)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3・4	社内で話す「さすが本田君(1)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5・6	社内で話す「さすが本田君(2)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	7・8	小説を読む「楽園の萌花(1)」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9・10	小説を読む「楽園の萌花(1)」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11・12	後期前半まとめ				授業内評価テスト準備	
	13・14	授業内評価テスト(筆記)① / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	15・16	小説を読む「楽園の萌花(2)」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	17・18	小説を読む「楽園の萌花(2)」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	19・20	講演を聞く「トリアージ」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	21・22	講演を聞く「トリアージ」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	23・24	論説文を読む「前衛書道」前半				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	25・26	論説文を読む「前衛書道」前半				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	27・28	後期後半まとめ				授業内評価テスト準備	
	29・30	授業内評価テスト(筆記)② / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	言語 I B-2						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	徳田 万里子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	N2レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：	○	演習：	△	実習：		※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN2レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	授業概要説明/8. ビジネス場面での会話 取引先で				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	3-4	9. 友達同士の会話 食べ放題(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	5-6	9. 友達同士の会話 食べ放題(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	7-8	10. エッセーを読む 満員電車(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	9-10	10. エッセーを読む 満員電車(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	11-12	11. 記事を読む ラーメンの紹介				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	13-14	12. ビジネス場面の会話 ウォーキングシューズの開発(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	15-16	授業内評価テスト(筆記)①/N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	17-18	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	19-20	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	21-22	12. ビジネス場面の会話 ウォーキングシューズの開発(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	23-24	13. ストーリーを読む 人生の転機(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	25-26	13. ストーリーを読む 人生の転機(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	27-28	14. 社説を読む オリンピックの開催について				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	29-30	授業内評価テスト(筆記)②/後期総復習				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語 I B-1						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本語能力試験N3レベルの文法を教科書に沿って学習する。また、場面に応じて学んだ知識を運用できるよう、作文、発話練習を行い、日本語能力試験N3レベルの文法を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：	○	演習：	△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常の幅広い場面で必要なN3レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』(アスク出版 2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	8 就職の面接				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	3・4	まとめの問題／9 お花見(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	5・6	9 お花見(2)／まとめの問題				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	7・8	10 ゆきの選択(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	9・10	10 ゆきの選択(2)				教科書の復習(1時間)	
	11・12	まとめの問題／N3 文法 模擬試験				授業内評価テスト(筆記)①の準備	
	13・14	授業内評価テスト(筆記)①前復習／授業内評価テスト(筆記)①				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	15・16	11 友だちのお見舞い(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	17・18	11 友だちのお見舞い(2)／まとめの問題				教科書の復習(1時間)	
	19・20	N2 文法 模擬試験／N2 文法				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	21・22	N2 文法				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	23・24	N2 文法				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	25・26	N2 文法				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	27・28	N2 文法／後期総復習				授業内評価テスト②の準備	
	29・30	後期総復習／授業内評価テスト(筆記)②					
	評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト(筆記)		◎	◎				60%
小テスト		◎	◎				20%
受講状況					◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎 I B-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするためにテキストに沿って学習し、語彙を積み上げていく。また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				日本語能力試験N1レベルの語彙が読み書きできる	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』（アスク出版 2015年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	6課 価値観が合う人 ―結婚―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	2	6課 価値観が合う人 ―結婚―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	3	7課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	4	7課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	5	8課 猫の手も借りたい ―慣用句・ことわざ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	6	8課 猫の手も借りたい ―慣用句・ことわざ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	7	JLPT模擬試験と解説、6～8課の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト(筆記)①				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	9	9課 富士山 ―世界遺産・名所紹介―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	10	9課 富士山 ―世界遺産・名所紹介―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	11	JLPT模擬試験と解説				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	12	10課 50%を占めている ―グラフ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	13	10課 50%を占めている ―グラフ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	14	後期の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	授業内評価テスト(筆記)②					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎 I B-2							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	伊東 佳代	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年							
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、中級レベル以降(N2レベル)の文字・語彙を使った表現の習得を目指す。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	◎	○				N2レベルの文字・語彙を覚え、自分の言葉で説明できる		
		○				場面に合わせて適切な語彙を使用できる		
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』(アスク出版 2015年)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	前期振り返り・後期の授業の導入				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	2	価値観の合う人 ～結婚～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	3	価値観の合う人 ～結婚～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	4	桜が舞う ～季節～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	5	桜が舞う ～季節～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	6	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策		
	7	後期前半まとめ／授業内評価テスト(筆記)				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	8	猫の手も借りたい～慣用句・ことわざ～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	9	猫の手も借りたい～慣用句・ことわざ～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	10	富士山～世界遺産・名所紹介～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	11	富士山～世界遺産・名所紹介～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	12	50%を占めている～グラフ～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	13	50%を占めている～グラフ～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる		
	14	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策		
	15	後期後半まとめ／授業内評価テスト(筆記)				本日の授業の復習をする		
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%	
	小テスト	◎	◎				20%	
	受講状況				◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	言語基礎 I B-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、N3レベルの文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標	
	○	○				日常生活に役立つ語彙を見て理解ができ、運用できる	
	○	○				使用場面に合わせて適切な語彙を選び、日常的な会話ができる	
		○				前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験問題集 N3語彙 スピードマスター』（Jリサーチ出版 2021年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要説明 26. 大学					言葉の予習・復習
	2	27.28 仕事・職業/パソコン・ネット					言葉の予習・復習
	3	29.30 人と人・グループ/どんな人？					言葉の予習・復習
	4	第2回実践練習 31. どんなもの？どんなこと？					言葉の予習・復習
	5	32.33 どのように？/位置・方向					言葉の予習・復習
	6	34.35 擬音語・擬態語①/擬音語・擬態語②					言葉の予習・復習
	7	36.37 複合動詞①/複合動詞②					授業内評価テスト①の準備
	8	授業内評価テスト(筆記)① 38. 基本動詞①					言葉の予習・復習
	9	39.40 基本動詞②/「～する」の形の動詞①					言葉の予習・復習
	10	41.42 「～する」の形の動詞②/カタカナ語					言葉の予習・復習
	11	43.44 慣用句/言葉のいろいろな形					言葉の予習・復習
	12	45. 言葉を作る一字 第3回実践練習					言葉の予習・復習
	13	第1回 模擬試験					言葉の予習・復習
	14	第2回 模擬試験					授業内評価テスト②の準備
	15	授業内評価テスト(筆記)② 後期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になる場合がある。						

科目名	言語応用 I B-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	幅広い場面で必要な読解力と聴解力の向上を目的とし、N1レベルの聴解・読解の問題に取り組む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				N1レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク 2019年) 『日本語総まとめ N1 読解 』(アスク出版 2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第4週1～2日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	2	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第4週3～4日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	3	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第4週5～6日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	4	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第4週7日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	5	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第5週1～2日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	6	読解:第5週3～4日目／応用問題					授業内評価テスト準備
	7	後期前半まとめ / 授業内評価テスト(筆記)①					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	8	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第5週5～6日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	9	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第5週7日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	10	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第6週1～2日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	11	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第6週3～4日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	12	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第6週5～6日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	13	聴解:Ⅶ模擬問題／読解:第6週7日目					新出語彙等は必ず家で復習をすること
	14	応用問題					授業内評価テスト準備
	15	後期後半まとめ / 授業内評価テスト(筆記)②					新出語彙等は必ず家で復習をすること
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用 I B-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	橋本 秀子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの聴解・読解問題に取り組み、幅広い場面で必要な読解力・聴解力を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				N2レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク 2011年） 『日本語総まとめ N2 読解』（アスク出版 2016年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第4週1～2日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	2	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第4週3～4日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	3	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第4週5～6日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	4	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第4週7日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	5	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第5週1～2日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	6	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)-1／読解:第5週3～4日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	7	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)-2／読解:第5週5～6日目					新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)
	8	授業内評価テスト(筆記)①、聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(2)					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	9	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第5週7日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	10	聴解:模擬問題と解説／読解:第6週1～2日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	11	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:模擬問題					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	12	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(5)／読解:第6週3～4日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	13	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第6週5～6日目					新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)
	14	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第6週7日目					新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)
	15	後期まとめ／授業内評価テスト(筆記)②					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用 I B-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	柴田 智子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解力、読解力を身につけるため、テキストに沿って練習していく。N3レベルの文法、語彙も確認していく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて、内容が説明できる	
		○				お知らせや案内、新聞などを読んで、必要な情報がとれる	
		○				比較的平易な意見文、説明文などの問題に対し、適切な答えが選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター 聴解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク 2019年） 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ 読解N3』（アスク出版 2019年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 読解：第4週1日目 見出し 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 2-B 決まった答え方				新出語彙などは必ず復習すること	
	2	読解：第4週2日目 グラフ① 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 3. 間接的な答え方に注意する				新出語彙などは必ず復習すること	
	3	読解：第4週3日目 グラフ② 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	4	読解：第4週4日目 広告① 聴解：Ⅳ「課題理解」のスキルを学ぶ 1. すべきことを考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	5	読解：第4週5日目 広告② 聴解：Ⅳ「課題理解」のスキルを学ぶ 2. 最初にすることを考える 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	6	読解：第4週6日目 まんが 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 1. 選択肢と同じ言葉に注意して聞く				新出語彙などは必ず復習すること	
	7	読解：第4週7日目 実践問題 第5週1日目 日記① 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 2. 答える文で言いたいこと(肯定的か否定的か)を考える				授業内評価テスト①の準備	
	8	授業内評価テスト(筆記)① 読解 第5週2日目 日記②				新出語彙などは必ず復習すること	
	9	読解：第5週3日目 家族① 第5週4日目 家族② 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 3. 追加情報に注意する				新出語彙などは必ず復習すること	
	10	読解：第5週5日目 小説① 第5週6日目 小説② 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	11	読解：第5週7日目 実践問題 第6週1日目 意見文① 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 1. 話題をつかみ、全体として言いたいことを考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	12	読解：第6週2日目 意見文② 第6週3日目 意見文③ 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 2. 前置きの表現を手がかりにして意図を考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	13	読解：第6週4日目 計算に関する文章 第6週5日目 医学に関する文章 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 3. 話しのパターンを手がかりにして意見・主張を聞き取る				新出語彙などは必ず復習すること	
	14	読解：第6週6日目 社会に関する文章 第6週7日目 実践問題 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 確認問題				授業内評価テスト②の準備	
	15	授業内評価テスト(筆記)② 後期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名		日本語能力試験対策B-3					
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	大神 久美子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの問題演習を行い、語彙・文法・読解問題の解き方をマスターする。日常的な場面だけではなく、新聞の論説、評論など難易度の高い文章を読む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				難易度の高い社会、経済、産業、身体、健康など幅広い分野で使われる語彙の意味が説明できる	
		○				事柄を説明したり、主観を述べたりする場合の表現を学習し、適切な文法形式が判断できる	
		○				指示文、評論やエッセイなどを読んで因果関係や理由、話の流れなどを理解し、内容について答えることができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験20日で合格N1文字・語彙・文法 改訂版』(国書刊行会 2012年) 『日本語能力試験N1読解必修パターン』(Jリサーチ出版 2015年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	N1文字・語彙文法第13日/読解2章長文A2「論説」				「20日で合格N2」第14日予習	
	4-6	N1文字・語彙文法第14日/読解2章長文B1「エッセイ」				「20日で合格N2」第15日予習	
	7-9	N1文字・語彙文法第15日/読解2章長文B2「小説」				「20日で合格N2」第16日予習	
	10-12	N1文字・語彙文法第16日/読解2章長文B3「紀行文」				「20日で合格N2」第17日予習	
	13-15	N1文字・語彙文法第17日/読解PART21章1ー5・PART3模擬試験・解説				「20日で合格N2」第18日予習	
	16-18	N1文字・語彙文法第18日 /読解2章1「内容理解(短文)」				「20日で合格N2」第19日予習／授業内評価テストのための復習(1時間)	
	19-21	N1文字・語彙文法第19日/授業内評価テスト(筆記)				「20日で合格N2」第20日予習	
	22-24	N1文字・語彙文法第20日/読解2章4「統合理解」				言葉、表現の復習(1時間)	
	25-27	N1模擬試験(聴解)・解説/読解2章3読解「内容理解(長文)」				言葉、表現の復習(1時間)	
	28-30	N1模擬試験(文字語彙文法読解)・解説/読解2章2「内容理解(中文)」				言葉、表現の復習(1時間)	
	31-33	N1模擬試験(文字語彙文法読解)・解説/読解2章6「情報検索」				言葉、表現の復習(1時間)	
	34-36	N1模擬試験(文字語彙文法読解・聴解)・解説				言葉、表現の復習(1時間)	
	37-39	N1文字・語彙文法第13日～15日復習/読解2章5「主張理解(長文)」				言葉、表現の復習(1時間)	
	40-42	N1文字・語彙文法第16日～18日復習/読解復習				言葉、表現の復習(1時間)	
	43-45	N1文字・語彙文法第19日～20日復習/読解復習				定期試験のための復習(2時間)	
評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	日本語能力試験対策B-2							
科目名(英)								
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	柴田 智子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年							
授業概要	日本語能力試験N2の合格を目的に、日常での会話文のみならず、新聞記事や平易な評論などを理解できるようになるようテキストの練習問題に沿って学習する。また、学習しながら試験合格のために有効な解法を学習する。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技： ※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				社会・自然科学、環境、産業技術など、広い範囲で使われる語彙の意味が説明できる		
		○				事柄を説明したり、主観を述べたりする場合の適切な文法形式が判断できる		
		○				説明文、指示文、評論などを読んで因果関係や話の流れを理解し、内容について答えることができる		
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験20日で合格N2文字・語彙・文法[改訂版]』(2018年／国書刊行会) 『日本語能力試験問題集N2読解必修パターン』(2017年／Jリサーチ出版)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-3	N1文字・語彙文法第13日/読解2章長文A2「論説」				「20日で合格N2」第14日予習(1時間)		
	4-6	N1文字・語彙文法第14日/読解2章長文B1「エッセイ」				「20日で合格N2」第15日予習(1時間)		
	7-9	N1文字・語彙文法第15日/読解2章長文B2「小説」				「20日で合格N2」第16日予習(1時間)		
	10-12	N1文字・語彙文法第16日/読解2章長文B3「紀行文」				「20日で合格N2」第17日予習(1時間)		
	13-15	N1文字・語彙文法第17日/読解PART2 1章1ー5				「20日で合格N2」第18日予習(1時間)		
	16-18	N1文字・語彙文法第18日/PART3模擬試験・解説				「20日で合格N2」第19日予習(1時間)		
	19-21	N1文字・語彙文法第19日/読解2章1「内容理解(短文)」				「20日で合格N2」第20日予習(1時間)／授業内評価テストのための復習(1時間)		
	22-24	N1文字・語彙文法第20日/授業内評価テスト(筆記)				言葉、表現の復習(1時間)		
	25-27	N2模擬試実施、解説/読解2章2「内容理解(中文)」				言葉、表現の復習(1時間)		
	28-30	N2模擬試実施、解説/読解2章6「情報検索」				言葉、表現の復習(1時間)		
	31-33	復習小テスト／言語知識「第17日」/読解2章4「統合理解」				言葉、表現の復習(1時間)		
	34-36	N2模擬試験(文字語彙文法読解・聴解)・解説				言葉、表現の復習(1時間)		
	37-39	N2文字・語彙文法第13日～15日復習/読解2章3読解「内容理解(長文)」				言葉、表現の復習(1時間)		
	40-42	N2文字・語彙文法第16日～18日復習/読解2章5「主張理解(長文)」				言葉、表現の復習(1時間)		
	43-45	N2文字・語彙文法第19日～20日復習/読解復習				定期試験のための復習(2時間)		
	評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
定期試験(筆記)		◎	◎				40%	
授業内評価テスト(筆記)		◎	◎				20%	
小テスト		◎	◎				20%	
受講状況					◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	日本語能力試験対策B-1						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解し、運用力を身に付けることを目的に、日本語能力試験N3レベルの復習を行いながら、日本語能力試験N2の合格を目標とした対策授業を行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N2の問題形式を理解し、解答に必要な文字語彙や文法表現を覚える。	
		○				既習の知識を応用し、的確に解答することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験問題集N3読解スピードマスター』(Jリサーチ 2019年) 『日本語能力試験20日で合格 N3文字・語彙・文法』(国書刊行会 2018年) 『日本語能力試験20日で合格 N2文字・語彙・文法』(国書刊行会 2021年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	N3文字・語彙文法第14日/N3読解長文(5)～(6) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	4-6	N3文字・語彙文法第15日/N3読解情報検索(7)～(9) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	7-9	N2文字・語彙文法第1日/N3読解短文(16)～(20) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	10-12	N2文字・語彙文法第2日/N3読解中文(10)～(12) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	13-15	N2文字・語彙文法第3日/N3読解長文(7)～(8) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	16-18	N2文字・語彙文法第4日/N3読解情報検索(10)～(12) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	19-21	N2模擬試験①				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	22-24	N2文字・語彙文法第5日/N3読解中文(13)～(16) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	25-27	N2文字・語彙文法第6日/授業内評価テスト(筆記)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	28-30	N2模擬試験②				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	31-33	N2文字・語彙文法第7日/N3読解長文(9)～(10) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	34-36	N2文字・語彙文法第8日/N3読解情報検索(13)～(15) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	37-39	N2文字・語彙文法第9日/ N3読解長文(11)～(12) N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	40-42	N2文字・語彙文法第10日/ N2読解練習問題				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
43-45	N2文字・語彙文法第11日/ 後期総復習				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)		
評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	実践ビジネスコミュニケーションB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	福永 沙耶花
実施年度	2022年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	PJC実践日本語コミュニケーション検定Bレベル取得とビジネスの現場でのコミュニケーション技能の習得を目的とし、日本のビジネスマナー、状況や場面に応じた適切な対応・判断・言葉遣い、正しい敬語表現について学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					PJC合格に必要な語彙を理解、認識できる	
		○				PJC合格に必要な文法や会話表現を理解し、実践的な会話で 사용할 ことができる	
		○				日本企業で働く際に必要なマナー、対応、適切な言葉遣いを選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『マンガで体験！日本のカイヤ』（日本漢字能力検定協会 2017年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明／検定試験の説明／前期復習					
	2	電話に出る際のマナー ChapterⅡ-15				電話対応の会話暗記	
	3	来客者に会社への道順を説明する表現 ChapterⅡ-16				道案内文を作成する(プリント配布)	
	4	来客者と雑談する際の話題の選び方 ChapterⅡ-17				取引先の人との雑談時の話題を考える(プリント配布)	
	5	社外の人への報告・連絡・相談のやり方 ChapterⅡ-18				予想外の事態への対応を考える(プリント配布)	
	6	名刺の取り扱いと交換の際のマナー ChapterⅡ-19				名刺交換時の会話暗記	
	7	ビジネスメールの書き方(顔文字表現の使用について) ChapterⅡ-20				ビジネスメール(プリント配布)	
	8	授業内評価テスト(筆記) 電話で相手の社名と名前を正確に聞き取る ChapterⅡ-21				電話対応の会話暗記	
	9	資料を印刷する際のマナー ChapterⅡ-22				周囲へどのような配慮ができるか考える(プリント配布)	
	10	会議での発言の仕方 ChapterⅡ-23				会話文作成(プリント配布)	
	11	上司や先輩に質問をする際の表現 ChapterⅡ-24				質問する表現の練習(プリント配布)	
	12	社内での人との接し方と言葉遣い ChapterⅡ-25				会話文作成(プリント配布)	
	13	仕事の引き受け方と断り方 ChapterⅡ-26				会話文作成(プリント配布)	
	14	依頼された事柄の意味や背景を考える ChapterⅡ-27				依頼の確認に用いる表現を暗記	
15	まとめ・定期試験準備						
評価方法	(1)前回の復習テストを毎回実施する。(筆記または口述) (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。(4)受講状況 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				
	小テスト	◎	◎				
	受講状況				◎		
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	ビジネスコミュニケーション I B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	社内外で遭遇するビジネスの場面において、日本語でスムーズに業務を行うために必要な基本的な敬語表現、ビジネスマナーなどを学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日本でのビジネスに必要な語彙、表現を覚え、使用できる	
		○				相手から発された会話が理解でき、適切な応答ができる	
		○				適切な語彙、マナーや日本の習慣、慣習も踏まえた発話ができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語で働く！ ビジネス日本語30時間』(スリーエーネットワーク 2020年)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	第5課「頼む・断る」 上司に依頼する					
	2	第5課「頼む・断る」 上司の依頼を断る					スキット発表の準備
	3	第5課「頼む・断る」 スキット発表					第5課の復習 第6課の「ことば」を調べる
	4	第5課「頼む・断る」 ミニクイズ／第6課「許可をもらう」新出語彙導入					
	5	第6課「許可をもらう」 上司に許可をもらう					
	6	第6課「許可をもらう」 他社の人に許可をもらう					スキット発表の準備
	7	第6課「許可をもらう」 スキット発表					第6課の復習 第7課の「ことば」を調べる
	8	第6課 「許可をもらう」ミニクイズ／第7課「アポイントをとる」新出語彙導入					
	9	授業内評価テスト(筆記) 第7課「アポイントをとる」 紹介してもらった人にアポイントを取る					
	10	第7課「アポイントをとる」 上司の都合を聞く・約束を変更する					スキット発表の準備
	11	第7課「アポイントをとる」 スキット発表					第7課の復習 第8課の「ことば」を調べる
	12	第7課 「アポイントをとる」 ミニクイズ／第8課「訪問する」 新出語彙導入					
	13	第8課「訪問する」 受付で取り次ぎを頼む					
	14	第8課「訪問する」 応接室で面会する～辞去する					スキット発表の準備
	15	第8課「訪問する」 スキット発表/後期のまとめ					定期試験のための復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する(3)各課毎の小テストを実施する (4) 受講状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	比較文化論B							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年							
授業概要	自国との違いについて認識し、場面に応じ、日本の社会に適した行動様式を選択できるようになるため、日本の社会、文化についての基本的な知識や身近な情報を学ぶ。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				日本の社会や文化について理解し、自国と比較しながら説明できる		
		○				各回の授業テーマについて自分の意見を述べることができる		
		○		○		積極的に授業に参加し、ディスカッションでも自分の意見を発表できる		
テキスト・教材 参考図書	講師作成プリント使用（参考図書）『クローズアップ日本事情15 日本語で学ぶ社会と文化』(The Japan Times)他							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	スポーツの楽しみ方① 相撲						
	2	スポーツの楽しみ方② 野球						
	3	日本の科学技術①						
	4	日本の科学技術②						
	5	日本の科学技術③						
	6	環境問題①						
	7	環境問題②				授業内評価テストまでの学習内容を見直しておくこと		
	8	環境問題③・授業内評価テスト(筆記)						
	9	少子高齢社会①						
	10	少子高齢社会②						
	11	少子高齢社会③						
	12	日本の学校①						
	13	日本の学校②						
	14	日本の産業構造①						
	15	日本の産業構造②・まとめ・定期試験準備				これまでの学習内容の見直しをしておくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)授業内評価テスト(筆記) (3)小テスト (4)受講状況(出席状況、授業態度、課題提出状況) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%	
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%	
	小テスト	◎	◎				20%	
	受講態度				◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	企業実務B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	日本におけるビジネスマナーの基礎である挨拶、身だしなみ、言葉遣いを理解するとともに、会社における基本的なマナー、慣習を実践できるよう講義を中心に演習も交えて授業を行う。また、就職活動に関する日本の慣習、マナーについても学習していく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会人として必要なマナー関連語彙を理解し、自分の言葉で説明できる。	
	○	○				日本の会社の慣習、企業文化、就職活動について語彙を理解し、説明できる。	
		○	○			日本の会社の慣習、企業文化、就職活動に沿った言動を選択、実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成教材使用 【参考図書】『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』（日本能率協会マネジメントセンター 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	講座概要説明・携帯電話のマナー					
	2	整理整頓					
	3	社会人としてはいけないこと①					
	4	社会人としてはいけないこと②					
	5	ビジネスEメール①					
	6	ビジネスEメール②					
	7	接客・訪問①					
	8	接客・訪問②					試験範囲の復習をしておくこと
	9	授業内評価テスト(筆記)・接客・訪問					
	10	就職活動に関するマナー(訪問時の注意)					
	11	就職活動に関するマナー(お茶のいただき方)					
	12	就職活動に関するマナー(訪問時の注意 名刺交換)					
	13	就職活動に関するマナー(ハガキ・封筒の書き方)					
	14	就職活動に関するマナー(言葉)					これまでの授業内容の復習をしておくこと
	15	まとめ・定期試験準備					これまでの授業内容の復習をしておくこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する (3)小テストを実施する (4)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況	○	○		◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	産業研究						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	寺崎 葉子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年						
授業概要	就職活動をするにあたって、日本の産業について学び、進路に関する目標設定をする。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				就職活動・産業に関する語彙を学び、自分の言葉で説明できるようになる	
	○	○				企業情報に関する語彙を学び、自分の言葉で説明できるようになる	
		○		○		自分の適性と合う産業を考え、自分で調査することができる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント 『就職活動ガイドブック』(学校法人麻生塾)等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期連絡事項、後期スケジュールの確認、就職講話					
	2	美容講習・履歴書用写真撮影				個人の後期目標を考えておく。年間目標の進捗状況を確認しておく。	
	3	後期の目標設定					
	4	日本の就職活動についての理解					
	5	就職までのタイムスケジュール					
	6	キャリアプランについて					
	7	業種と職種について①					
	8	業種と職種について②					
	9	自己分析①					
	10	自己分析②					
	11	自己分析③					
	12	求職票受付面接準備①					
	13	求職票受付面接準備②					
	14	求職票受付面接準備③ 面接練習①					
	15	面接練習②・冬季休暇についての諸注意					
評価方法	(1)課題提出状況 (2)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	○	○		◎		50%
	受講状況				◎		50%
履修上の注意							

科目名	ビジネス英語 I									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		寺崎 葉子	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科1年									
授業概要	TOEIC受験のための対策を行う。また、解法のみならず、リスニング、リーディング問題を通してビジネスシーンで英語でのコミュニケーションができるよう必要な語彙、言い回しを習得する。									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				TOEICの出題レベルの語彙、表現を習得し、文意を理解できる				
		○				制限時間の中で、習得した語彙、表現を駆使して正しく解答できる				
		○				わからない語彙、表現でも、文意、場面から推測して場面の流れを理解できる				
テキスト・教材 参考図書	『公式TOEIC Listening&Reading問題集』(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	TOEICの説明・TOEICの問題構成の理解					復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	2	Part1対策	Part5対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	3	Part1対策	Part5対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	4	Part2対策	Part5対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	5	Part2対策	Part6対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	6	Part3対策	Part6対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	7	Part3対策	Part7対策				復習を必ず行い、特に新出語彙の意味の把握は確実にしておくこと			
	8	Part4対策	Part7対策				授業内評価テストの準備をしておくこと			
	9	授業内評価テスト(筆記)								
	10	模擬問題練習①					事前に問題を解いて参加すること			
	11	模擬問題練習②					事前に問題を解いて参加すること			
	12	模擬問題練習③					事前に問題を解いて参加すること			
	13	模擬問題練習④					事前に問題を解いて参加すること			
	14	模擬問題練習⑤					授業内評価テストの準備をしておくこと			
	15	授業内評価テスト(筆記)								
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テストを実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%			
	小テスト	◎	◎				20%			
	受講状況				◎		20%			
履修上の注意										